様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施 策	①ICTによる新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における
			施策の小項目名	○新たなデジタル技術の活用による観光コンテンツの創出
主な取組	新たな技術を活用した観光コンテンツの開発		対応する成果指標	リアルタイムな情報をオープンデータ化して公開している観光施設数
施策の方向	・VR（仮想現実）・AR（拡張現実）等の新たなデジタル技術の活用により本県の文化や自然を深く体験・体感できる観光コンテンツの創出に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
民間事業者の実施する沖縄のソフトパワー(歴史、自然、文化等)を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図る。	県	新たな沖縄観光を体験できるコンテンツ開発への支援		
		支援件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	83,520	83,668

予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	89,723

令和6年度活動内容

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者10件を支援した。

令和7年度活動計画

沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者10件を支援する。

活動指標名	支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを支援した。
	0件	1件（１件）	1件（2件）	１件（３件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

民間事業者や地域観光協会等が実施する付加価値の高い観光コンテンツ開発を1件支援し、目標を達成した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○補助事業を公募する際に、沖縄県の観光に関する方針を丁寧に説明し、「新たなデジタル技術を活用した観光メニュー」を事例として挙げる等、必要とされる観光コンテンツを事業者がイメージできるようにする。	○補助事業を公募する際に、公募説明会を実施し、過去補助事業で参考となるような「新たなデジタル技術を活用した観光メニュー」を事例として挙げる等、必要とされる観光コンテンツを事業者がイメージできるようにした。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	VRやアプリ、メタバースといったDXを活用した観光コンテンツの補助申請が増えてきているが、観光体験コンテンツには繋がっていない。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
③ 他地域等事例を参考とした改善	過去事例を提示し、旅前や旅後でデジタルコンテンツを活用し、旅中の観光体験コンテンツに繋げ、沖縄観光の満足度、リピーター化に繋げる。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施 策	①ICTによる新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における
			施策の小項目名	○観光客が快適に過ごせる観光地の形成
主な取組	コンタクトレス決済端末機導入整備事業		対応する成果指標	リアルタイムな情報をオープンデータ化して公開している観光施設数
施策の方向	・観光客が快適に過ごせる観光地の形成のため、リアルタイムな観光地及び移動経路等における混雑回避に必要な情報の提供や、観光施設等におけるコンタクトレス決済の普及・促進、無料公衆無線LAN（Free-Wi-Fi）、施設情報のオープンデータ化等の環境整備に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
DXの促進による生産性向上を目的に、コンタクトレス決済端末機導入に際して、補助を行う。	県,民間事業者	コンタクトレス決済端末機普及		
		コンタクトレス決済端末機普及件数（累計）		
		750件	700件（1,450件）	700件（2,150件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	—			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
—	—		—	

令和6年度活動内容

R5年度より利用促進に切り替えていることから、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを伝えていくことにより、普及促進に努めた。

予算事業名	—			
R7年度				
主な財源	実施方法	当初予算額		
—	—			

令和7年度活動計画

コンタクトレス決済端末機導入整備事業で作成した成功事例集を効果的に活用しコンタクトレス化のメリットを伝えることにより、普及促進に努める。

予算事業名	沖縄観光人材不足緊急対策事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
内閣府計上	補助		287,978	

令和6年度活動内容

人材不足対策のため、無人化・省人化を目的にコンタクトレス決済端末機を導入する事業者へ補助することにより、導入費用の負担を軽減した。

予算事業名	観光事業者収益力向上サポート事業		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	補助	164,203	

令和7年度活動計画

人材不足対策のため、無人化・省人化を目的にコンタクトレス決済端末機を導入する事業者へ補助することにより、導入費用の負担を軽減する。

活動指標名	コンタクトレス決済端末機普及件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		・コンタクトレス決済端末機導入整備事業により作成した成功事例集を配布し周知等を図った。 ・コンタクトレス決済端末機を導入する事業者へ補助することにより、導入費用の負担を軽減し、普及促進に努めた。
	550件(991件)	0件（991件）	0件（991件）	700件（2,150件）		未着手	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
過年度の事業で作成した成功事例集を活用して周知を進めたこと、また、コンタクトレス決済端末機の導入に係る補助を実施したことにより、県内観光事業者のコンタクトレスの促進や観光消費額の向上に一定程度寄与したものと考えられる。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○人材不足対策のため、無人化・省人化を目的にコンタクトレス決済端末機を導入する事業者へ補助することにより、導入費用を負担軽減し、普及促進に努める。	○沖縄観光人材不足緊急対策事業においてコンタクトレス決済端末機を導入する事業者へ補助を行ったことで、沖縄観光におけるコンタクトレス化の普及促進に寄与した。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和４年度でコンタクトレス決済端末機導入整備事業は終了したものの、新たに収益力向上サポート事業の補助金を活用してコンタクトレス化を進めていくことが可能となっている。
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和6年度実施の沖縄観光人材不足緊急対策事業においては、コロナ前と比べて従業員数が減少していること等の要件により申請できない事業者が出たため、当該要件を緩和する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	コンタクトレス決済端末機導入整備事業により作成した成功事例集を活用する。収益力向上サポート事業の補助金活用等を含めて事業者へのアプローチする等、コンタクトレス化の普及を図っていく。
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	令和7年度実施の観光事業者収益力向上サポート事業においては、前年度の従業員数要件をなくしたことで、より多くの事業者を対象にすることができた。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施 策	①ICTによる新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における
			施策の小項目名	○観光客が快適に過ごせる観光地の形成
主な取組	観光情報基盤構築事業		対応する成果指標	リアルタイムな情報をオープンデータ化して公開している観光施設数
施策の方向	・観光客が快適に過ごせる観光地の形成のため、リアルタイムな観光地及び移動経路等における混雑回避に必要な情報の提供や、観光施設等におけるコンタクトレス決済の普及・促進、無料公衆無線LAN（Free-Wi-Fi）、施設情報のオープンデータ化等の環境整備に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
公共交通や観光施設等の情報を統一的な基準により整備する。	県	観光基盤情報の収集整備		
		観光基盤情報の収集整備件数(累計)		
		200件	300件(500件)	300件(800件)

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光情報基盤構築事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	20,164	20,494

予算事業名	観光情報基盤構築事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ハード）	委託	25,747

令和6年度活動内容

観光客が必要とする公共交通機関や観光施設等の情報を整理するとともに、基盤となる公共交通機関や観光施設等の情報を統一的な様式の基に整備した。

令和7年度活動計画

観光客が必要とする公共交通機関や観光施設等の情報を整理するとともに、基盤となる公共交通機関や観光施設等の情報を統一的な様式の基に整備する。

活動指標名	観光基盤情報の収集整備件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		観光２次交通結節点の設置に伴う新設のバス路線や国頭村観光周遊バス及び宮古島ループバスの時刻表等を収集した。
	382件	208件（590件）	393件（983件）	300件（800件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度の単年度目標値及び令和４年度からの累計目標値を達成した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○那覇空港における観光客の移動手段などを分析したうえで、引き続き、必要とする観光情報の整理やオープンデータを活用した情報発信の方法などの検討に取り組む。	新設されたバス路線の情報収集をしたうえで、収集したデータをオープンデータにより公開（情報発信）した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	那覇空港３階デッキ延伸工事に伴い、バス停再編及び新たなバス停デジタルサイネージの設置を予定していることから、わかりやすい案内方法などを検証する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	オープンデータを活用したリアルタイムの時刻表やわかりやすいバス停及び案内板表示の設置となるよう、関係機関・事業者と調整していく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施 策	②世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成
			施策の小項目名	○観光地におけるWi-Fi等の通信設備の整備等
主な取組	Be.OkinawaFreeWi-Fi通信機器調査及び検討業務事業		対応する成果指標	ワーケーションを目的とした来県者の割合
施策の方向	・観光地におけるWi-Fi等の通信設備、情報セキュリティ環境の整備に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点形成等を目的に、Be.OkinawaFreeWi-Fiの普及促進に取り組む。	県,民間事業者	Wi-Fi通信機器の整備普及促進		
		アクセスポイント件数（累計）		
		500件	500件（1,000件）	500件（1,500件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	Be.OkinawaFreeWi-Fi推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	25,764	14,369

予算事業名	Be.OkinawaFreeWi-Fi推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	14,639

令和6年度活動内容

オープンローミングの実証実験、リダイレクトサイトのUI/UX向上、利用者アンケート等に取り組んだ。

令和7年度活動計画

オープンローミングの実証実験、リダイレクトサイトのUI/UX向上、利用者アンケート等に取り組む。

活動指標名	アクセスポイント件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		Be.OkinawaFreeWi-Fiの性能等に関する実態調査、協議会の開催等により、利便性・有効性等に関する検証を行うとともに、周知広報活動を行った。
	△187（3,544）	336件(3,880)	△617件(3,263)	500件（1,500件）	-123.4%	未着手	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
Open Roaming の実証実験（県内５箇所）を通じて、Be.Okinawa Free Wi-Fiの周知広報に務め、GoogleMap の位置情報と連携し、利用箇所の表示を行ったものの、大容量パケットプラン契約の普及などにより、アクセスポイント数の増加にはつながらなかった。 アクセスポイントの実績は、令和６年１月１日から１２月３１日の期間中の数値である。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○Be.OkinawaFreeWi-Fiの指定事業者、導入事業者、利用者にとってメリットのあるWi-Fi制度となるようオープンローミング実証実験、サイトUI/UX向上、等に取り組んでいく。	オープンローミングの実証実験については、那覇空港（刻兄船・国際線）、国際通り、美ら海水族館、那覇大綱挽、沖縄こどもの国の5か所で行った。 オープンローミング実証実験の導入にあたり、、Be.OkinawaFreeWi-Fiリダイレクトサイト内のWi-Fiマップについても改修を行い、UI/UX向上に係る改修作業を行った。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	今後、５Gの普及やポケットWi-Fi等の利用度向上に伴い、Wi-Fi機器の設置場所について精査する必要がある。インバウンドが利用しやすい主要な場所に絞り、UI/UX向上等に取り組む必要がある。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑧ その他	FreeWi-Fiの設置について、事業者と調整を行い、前年度よりも設置場所を絞り、質の高い（利便性のある）Free-WiFiの提供を実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施 策	②世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成
			施策の小項目名	○デスティネーションとしての沖縄の認知度向上や誘客活動の展開
主な取組	デスティネーションとしての沖縄の認知度向上に向けた取組		対応する成果指標	ワーケーションを目的とした来県者の割合
施策の方向	・本県の優位性・差別化要素を構築し、デスティネーションとしての沖縄の認知度向上を図るとともに、送り手となる企業やワーケーションに関心がある個人事業主等に対する誘客活動に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県外企業等向けに沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行う。	県	ワーケーションデスティネーションとしての沖縄の認知度向上		
		プロモーション回数（累計）		
		2回	2回（4回）	2回（6回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄ワーケーション促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	32,307	29,801

予算事業名	沖縄ワーケーション促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	39,197

令和6年度活動内容

国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに沖縄ワーケーション促進プロモーションを行った。

令和7年度活動計画

国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに沖縄ワーケーション促進プロモーションを行う。

活動指標名	プロモーション回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		デスティネーションとしての沖縄の認知度向上に向けたプロモーションを実施した。
	2回	4回（６回）	4回（10回）	２回（６回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

モニターツアーの実施、県内外へのイベント出展など、年間を通じて様々なプロモーションを実施し、目標値２回のところ実績４回と、進捗状況は順調となっている。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
沖縄におけるワーケーションについては、他地域と差別化を図るため、ウェルネスなどの沖縄の強みを活かしたプロモーションを実施し企業の課題を把握の上、沖縄でのワーケーションを提案する。	「国際ウェルネスツーリズムEXPO」等に出展し、海や自然を間近に感じながら行える沖縄でのワーケーションのイメージ動画を放映するなど、他地域との差別化につながるプロモーションを実施した。また、県外企業等向けモニターツアーのアンケートでは他地域に比べて交通費が高いとの回答もあり、満足度の高い滞在中の過ごし方の提案として、余暇時間に活用できる地域の市場や直売所、工芸品の工房巡りなどのコースを実施した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
③ 他地域等との比較（内部要因）	観光誘客の新たな切り口であるワーケーションについて、沖縄の自然や文化体験等と組み合わせた形で滞在提案を行っている。また、アンケートから、他地域に比べて交通費が高くなるという回答もあった。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	他地域に比べて割高な交通費を負担してでも沖縄でのワーケーションを選択してもらえるよう、沖縄の自然や文化体験等、沖縄ならではの魅力的な余暇時間の過ごし方を提案していく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施 策	②世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成
			施策の小項目名	○デスティネーションとしての沖縄の認知度向上や誘客活動の展開
主な取組	企業や個人事業主等に対する誘客の取組		対応する成果指標	ワーケーションを目的とした来県者の割合
施策の方向	・本県の優位性・差別化要素を構築し、デスティネーションとしての沖縄の認知度向上を図るとともに、送り手となる企業やワーケーションに関心がある個人事業主等に対する誘客活動に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県外企業等向けに沖縄でのワーケーションを促進するプロモーションを行う。	県	企業やワーケーションに関心のある個人事業主等に対する誘客プロモーション		
		プロモーション回数（累計）		
		2回	2回（4回）	2回（6回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄ワーケーション促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	32,307	29,801

予算事業名	沖縄ワーケーション促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	39,197

令和6年度活動内容

国内観光客の増加、滞在日数の延伸および来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに沖縄ワーケーション促進プロモーションを行った。

令和7年度活動計画

国内観光客の増加、滞在日数の延伸および来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行う。

活動指標名	プロモーション回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		デスティネーションとしての沖縄の認知度向上に向けたプロモーションを実施した。
	2回	2回（4回）	2回（6回）	２回（６回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

モニターツアーの実施、県内外へのイベント出展など、年間を通じて様々なプロモーションを実施し、目標値２回のところ実績４回と、進捗状況は順調となっている。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
ワーケーションのモニターツアーを実施し、沖縄におけるワーケーションの魅力を体験して発信する取組を行う。	ワーケーションのモニターツアーを実施し、沖縄におけるワーケーションの魅力を体験してもらい、情報発信を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄でのワーケーションの他地域との差別化において、海や自然を間近に感じるワーケーション滞在、魅力的な余暇時間の過ごし方などを提案する。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	各地のワーケーションやツーリズムイベント等に出展し他地域との差別化を発信するとともに、モニターツアーの実施、ウェブサイトやSNSでの情報発信等を進める。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施　策	③データを活用した戦略的なマーケティングの推進
			施策の小項目名	○ターゲットマーケティングへの変換
主な取組	DX観光客動態調査事業		対応する成果指標	国内・国外観光客の行動歴・販売データのサンプル件数
施策の方向	・国内・国外観光客の行動歴、購買データ等のデータの収集方法を検討し、観光ビッグデータの構築に取り組むことにより、高付加価値な観光コンテンツの創出や本県が求める観光客の誘致など、エビデンスに基づいた観光消費額の向上や滞在日数の延長につながるターゲットマーケティングへの転換を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
観光客の行動歴等を調査・分析することでそのニーズを把握し、誘客プロモーションなどのターゲットマーケティングの展開に繋げる。	県	行動歴等データの利活用		
		観光客の行動歴データ件数（累計）		
		30,000件	30,000件（60,000件）	30,000件（90,000件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課　【　098-866-2763　】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/kankotokusan/1011671/1011816/1011859/1011822.html

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	DX観光客動態調査事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	14,937	24,234

令和6年度活動内容

観光客の携帯電話のGPS位置情報等を利用して、観光客が訪れた観光地や観光ルート、滞在先などの行動歴等を属性別、季節毎に調査分析を行った。

予算事業名	DX観光客動態調査事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	22,500

令和7年度活動計画

観光客の携帯電話のGPS位置情報等を利用して、観光客が訪れた観光地や観光ルート、滞在先などの行動歴等を属性別、季節毎に調査分析を行う。

活動指標名	観光客の行動歴データ件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		携帯電話のGPS位置情報データとして、スマートフォンのアプリからデータを収集し分析を行った。
	62,626件	165,498件（228,124件）	364,856件(592,980件)	30,000件（90,000件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

キャリアフリーであるスマートフォンアプリからGPS位置情報データを収集したことにより目標値を達成できた。また、収集したデータを調査分析することにより、ターゲットマーケティングへの展開に繋げた。なお、令和６年度は国内観光客だけでなく外国人観光客に対しても調査を開始したことから、収集データの増加に繋がった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　関係機関に対し事前にヒアリングを実施し、訴求ポイントや分析軸の改善を検討する。	観光客の動態調査を基礎的動態調査と着目動態調査に分類し、着目動態調査については観光収入の増に繋がりそうな観光客の特性（富裕層、長期滞在者など）に着目して分析軸を設定し、訴求ポイントを整理した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	国内観光客だけでなく、外国人観光客についても継続的に分析を行う必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	国内観光客だけでなく、外国人観光客についても観光スポットへの行動歴の分析を行えるよう計測スポットの追加等を検討し改善を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施　策	③データを活用した戦略的なマーケティングの推進
			施策の小項目名	○ターゲットマーケティングへの変換
主な取組	観光客の購買データ利活用		対応する成果指標	国内・国外観光客の行動歴・販売データのサンプル件数
施策の方向	・国内・国外観光客の行動歴、購買データ等のデータの収集方法を検討し、観光ビッグデータの構築に取り組むことにより、高付加価値な観光コンテンツの創出や本県が求める観光客の誘致など、エビデンスに基づいた観光消費額の向上や滞在日数の延長につながるターゲットマーケティングへの転換を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
ターゲットマーケティングへの変換等を目的に、購買データの利活用に取り組む。	県,民間事業者	購買データの利活用		
		購買データのサンプル件数（累計）		
		50件	500件（550件）	500件（1,050件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	—			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
—	—		—	

予算事業名	—		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—		

令和6年度活動内容

本事業により作成した成功事例集を効果的に活用し、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを伝えていくことにより、普及を図った。

令和7年度活動計画

本事業により作成した成功事例集を効果的に活用し、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを伝えていくことにより、普及を図っていく。

活動指標名	購買データのサンプル件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		本事業により作成した成功事例集の周知を図った。
	241件	-件	-件	500件（1,050件）			

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
キャッシュレスよりも現金管理を望む意見があったこと等もあり、補助事業が令和４年度で終了したため、令和５年度以降は実績値を取得することができていない。なお、目標値は達成できなかったものの、成功事例の活用によって、キャッシュレス化の促進や購買データの取得に必要なサンプル確保には一定の効果があったものと考えられる。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○本事業により作成した成功事例集を効果的に活用し、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを伝えていくことにより、普及を図っていく。	○　本事業により作成した成功事例集について、端末取扱事業者への配布等の周知等を図った結果、民間企業の営業ツールとして活用されているとの連絡を受けている。インバウンドが増える中、事業者からも需要が高まっている声を受けている。

３　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	補助金の活用等を含めて事業者へアプローチし、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを分かりやすく伝えていくことにより、普及を図る必要がある。

４　取組の改善案（Action）

類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	本事業により作成した成功事例集を効果的に活用し、補助金の活用等を含めて事業者へアプローチする等、コンタクトレス化（キャッシュレス化）の普及を図っていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施　策	③データを活用した戦略的なマーケティングの推進
			施策の小項目名	○ターゲットマーケティングへの変換
主な取組	観光客の路線バス乗降データの利活用		対応する成果指標	国内・国外観光客の行動歴・販売データのサンプル件数
施策の方向	・国内・国外観光客の行動歴、購買データ等のデータの収集方法を検討し、観光ビッグデータの構築に取り組むことにより、高付加価値な観光コンテンツの創出や本県が求める観光客の誘致など、エビデンスに基づいた観光消費額の向上や滞在日数の延長につながるターゲットマーケティングへの転換を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
公共交通のコンタクトレス決裁端末導入に係る実証実験を行う。	県,民間事業者	観光客の路線バス乗降データの利活用		
		乗降データのサンプル件数（累計）		
		100件	500件（600件）	1,000件（1,600件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光２次交通利用促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	補助	30,175	18,105

予算事業名	観光２次交通利用促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	53,882

令和6年度活動内容

免許を持たない観光客等の観光２次交通を確保するため、繁忙期において交通事業者等が行う観光２次交通の確保に要する経費に対し補助金を交付した。

令和7年度活動計画

免許を持たない観光客等の観光２次交通を確保するため、交通事業者等が行う観光２次交通の確保に要する経費に対し補助金を交付する。

活動指標名	乗降データのサンプル件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		交通事業者等が行う観光２次交通の確保に要する経費に対し補助事業を実施した。
	100件	315件（415件）	7,051件(7466件)	1,000件（1,600件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

観光２次交通の確保に要する経費に対し補助事業を実施しているが、令和６年度は補助事業者が１社から３社に増えたことで、乗降データのサンプルデータもあわせて増えたと考えられる。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○引き続き、繁忙期において、市町村や民間事業者が行うバス等の観光２次交通の確保に要する経費に対し、補助金を交付する事業を実施する。	○令和６年度は、３事業者２０運行に対する補助を行った。 事業終了後、１社が増便のうえ自走化（路線化）しており、観光客の２次交通の確保の観点から一定の効果があった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化（外部環境の変化）	外国人観光客が増加している中、７月の大型テーマパーク開業に伴い、ますます免許を持たない観光客の増加が見込まれるため、市町村や民間事業者が行う観光２次交通の確保に対する支援をする必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	今後は、繁忙期だけではなく、年間を通した観光客の移動手段の確保及び公共交通の利用促進の観点から通年補助とする。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施　策	④観光二次交通の利便性向上及び利用促進
			施策の小項目名	○ICTを活用した新たなサービス創出の促進
主な取組	観光２次交通機能強化事業		対応する成果指標	旅行中に利用した公共交通機関の割合
施策の方向	・国内外から来訪する観光客の二次交通の利便性及び満足度の向上を図るためには、観光客が最適なモビリティの情報を収集し、かつ容易に利用できる環境が必要です。このため、民間が取り組むMaaSやCASE等の基盤となる公共交通情報等のオープンデータを継続的に利用できる環境の構築・維持や、公共交通におけるコンタクトレス決済の普及に取り組み、ICTを活用した新たなサービスの創出を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
ICTを活用した新たなサービスの創出促進のため、公共交通のコンタクトレス決裁端末導入に係る実証実験を行う。	県	公共交通機関のコンタクトレス決済の導入支援		
		公共交通機関のコンタクトレス決済の導入件数（累計）		
		4件	2件（6件）	2件（8件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光２次交通利用促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	補助	30,175	18,105

令和6年度活動内容

免許を持たない観光客等の観光２次交通を確保するため、繁忙期において交通事業者等が行う観光２次交通の確保に要する経費に対し補助金を交付する。

予算事業名	観光２次交通利用促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	53,992

令和7年度活動計画

免許を持たない観光客等の観光２次交通を確保するため、交通事業者等が行う観光２次交通の確保に要する経費に対し補助金を交付する。

活動指標名	公共交通機関のコンタクトレス決済の導入件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		交通事業者等が行う観光２次交通の確保に要する経費に対し補助事業を実施した。
	3件	18件（21件）	2件（23件）	２件（８件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

公共交通機関のコンタクトレス決済の導入件数について、令和６年度は目標２件を達成し、進捗状況は順調となった。観光２次交通の補助事業等を実施したことが、公共交通機関のコンタクトレス決済導入に一定の効果があったと考えられる。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○引き続き、繁忙期において、市町村や民間事業者が行う観光２次交通の確保に要する経費に対し、補助金を交付する事業を実施する。	○繁忙期において、民間事業者が行う観光２次交通の確保に要する経費に対し、補助金を交付する事業を実施した。３事業者への支援を行い、うち１事業者は、定期の路線化となった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化（外部環境の変化）	本島北部に大型テーマパーク「JANGLIA」がオープンすることから、周辺の交通渋滞が予見される。公共交通機関の利用促進を図り交通渋滞を緩和するため、２次交通の確保に対する支援が必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	JANGLIAのオープン当初の交通渋滞を図るため、民間事業者等が行う２次交通の確保に要する経費に対し、補助金を交付する事業を実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施 策	④観光二次交通の利便性向上及び利用促進
			施策の小項目名	○ICTを活用した新たなサービス創出の促進
主な取組	観光基盤情報の収集・整備		対応する成果指標	旅行中に利用した公共交通機関の割合
施策の方向	・国内外から来訪する観光客の二次交通の利便性及び満足度の向上を図るためには、観光客が最適なモビリティの情報を収集し、かつ容易に利用できる環境が必要です。このため、民間が取り組むMaaSやCASE等の基盤となる公共交通情報等のオープンデータを継続的に利用できる環境の構築・維持や、公共交通におけるコンタクトレス決済の普及に取り組み、ICTを活用した新たなサービスの創出を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
ICTを活用した新たなサービス創出の促進のため、公共交通や観光施設等の観光基盤情報の収集・整備を行う。	県	公共交通や観光施設等の観光基盤情報の収集・整備		
		観光基盤情報の収集整備件数（累計）		
		200件	300件（500件）	300件（800件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光情報基盤構築事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	20,164	20,494

予算事業名	観光情報基盤構築事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	25,747

令和6年度活動内容

観光客が必要とする公共交通機関や観光施設等の情報を整理し、基盤となる公共交通機関や観光施設等の情報を統一的な様式の基に整備した。

令和7年度活動計画

観光客が必要とする公共交通機関や観光施設等の情報を整理するとともに、基盤となる公共交通機関や観光施設等の情報を統一的な様式の基に整備する。

活動指標名	観光基盤情報の収集整備件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		観光２次交通結節点の設置に伴う新設のバス路線や国頭村観光周遊バス及び宮古島ループバスの時刻等を収集した。
	382件	382件（764件）	393件（1,157件）	300件（800件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度の単年度目標及び令和４年度からの累計目標値を達成した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○那覇空港における観光客の移動手段などを分析したうえで、必要とする観光情報の整理やオープンデータを活用した情報発信の方法などの検討に取り組む。	新設されたバス路線の情報収集をしたうえで、収集したデータをオープンデータにより公開（情報発信）した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	那覇空港３階デッキ延伸工事に伴い、バス停再編及び新たなバス停デジタルサイネージの設置を予定していることから、わかりやすい案内方法などを検証する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	オープンデータを活用したリアルタイムの時刻表やわかりやすいバス停及び案内板表示の設置となるよう、関係機関・事業者と調整していく。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施　策	④観光二次交通の利便性向上及び利用促進
			施策の小項目名	○空港・港湾の観光拠点間の移動の円滑化
主な取組	県内で実施しているMaaSの観光客への周知		対応する成果指標	旅行中に利用した公共交通機関の割合
施策の方向	・空港・港湾の観光拠点間の移動の円滑化を図るため、主要観光拠点を観光二次交通の交通結節点として位置付け、自動運転技術を活用した新たなモビリティや脱炭素の視点を踏まえた電気自動車（EV）等の次世代自動車、カーシェアリングの活用の検討など、多様なモビリティを活用したシームレスな乗り継ぎサービスの提供に取り組むとともに、既存公共交通機関の利便性向上、レンタカー貸渡拠点の分散化を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
観光客の公共交通利用促進を図るための周知を行う。	県	WEBサイトやデジタルサイネージ等を活用した情報発信		
		情報発信件数（累計）		
		2件	2件（4件）	2件（6件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光２次交通利用促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	補助	1,441	17,345

予算事業名		
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
―	―	

令和6年度活動内容

WEBサイト等で乗換案内を情報発信し、２次交通の確保に対する支援を行った。

令和7年度活動計画

活動指標名	情報発信件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		「おきなわのりもの旅」（Webサイト）や那覇空港国際線のデジタルサイネージを活用した情報発信を行った。
	2件	2件（４件）	2件	２件（６件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

Webサイトや空港での情報発信を２件実施し、目標を達成したことから、順調と判定した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○Webサイト等で公共交通機関の乗り換え情報等を発信し、2次交通確保に対する支援を行った。支援の内容は、繁忙期に交通事業者等が行う観光２次交通の確保に要する経費に対し、補助金を交付した。	○今後は観光繁忙期ではでなく、通年の補助とし、観光客の２次交通確保に対する支援を引き続き行う。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化（外部環境の変化）	外国人観光客が増加している中、７月の大型テーマパーク開業に伴い、ますます免許を持たない観光客の増加が見込まれるため、市町村や民間事業者が行う観光２次交通の確保に対する支援が必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	７月の北部大型テーマパーク開業に伴い、交通渋滞も予見されるが、公共交通機関の利用促進を図り渋滞緩和するため引き続き、民間事業者等が行う観光２次交通の確保に要する経費に対し、補助金を交付する。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施　策	④観光二次交通の利便性向上及び利用促進
			施策の小項目名	○空港・港湾の観光拠点間の移動の円滑化
主な取組	主要観光拠点の観光二次交通の交通結節点としての位置づけに向けた取組		対応する成果指標	旅行中に利用した公共交通機関の割合
施策の方向	・空港・港湾の観光拠点間の移動の円滑化を図るため、主要観光拠点を観光二次交通の交通結節点として位置付け、自動運転技術を活用した新たなモビリティや脱炭素の視点を踏まえた電気自動車（EV）等の次世代自動車、カーシェアリングの活用の検討など、多様なモビリティを活用したシームレスな乗り継ぎサービスの提供に取り組むとともに、既存公共交通機関の利便性向上、レンタカー貸渡拠点の分散化を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
北谷町美浜駐車場に観光2次交通結節点を設置し、バスやタクシー、送迎車等のターミナルを整備するとともに、空港からの直行バスや美浜周辺の周遊バスを運行する。	県	市町村へのヒアリング	主要観光拠点の選定	
		ヒアリング実施団体数	基礎調査の実施	主要観光拠点の決定数
		3団体	基礎調査の完了	1箇所

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光２次交通結節点機能強化事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	20,011	142,719

予算事業名	観光２次交通結節点機能強化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	248,288

令和6年度活動内容

北谷町において、観光２次交通結節点の実証事業を実施した。

令和7年度活動計画

引き続き、北谷町において観光２次交通結節点の実証事業を実施する。

活動指標名	ヒアリング実施団体数		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		北谷町に観光２次交通結節点を設置し、実証事業を行った。
	3団体	基礎調査の完了	1箇所	１箇所	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

予定通り結節点を設置し、実証事業を開始したことから、進捗状況は順調と判断した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○北谷町における観光２次交通結節点について、交通広場の設置・運営、周遊バスの運行等を行っていく。	令和６年７月に北谷町美浜駐車場に交通広場の設置するとともに、那覇空港からの直行バス及び美浜周辺の周遊バスの運行等を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	北谷町における観光２次交通結節点について、効果的な実証事業となるような取組にしていく必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	民間事業者による空港からの直行バスの新設に伴い、県による直行バスを廃止し、結節点を起点として主要観光地との接続を強化する。